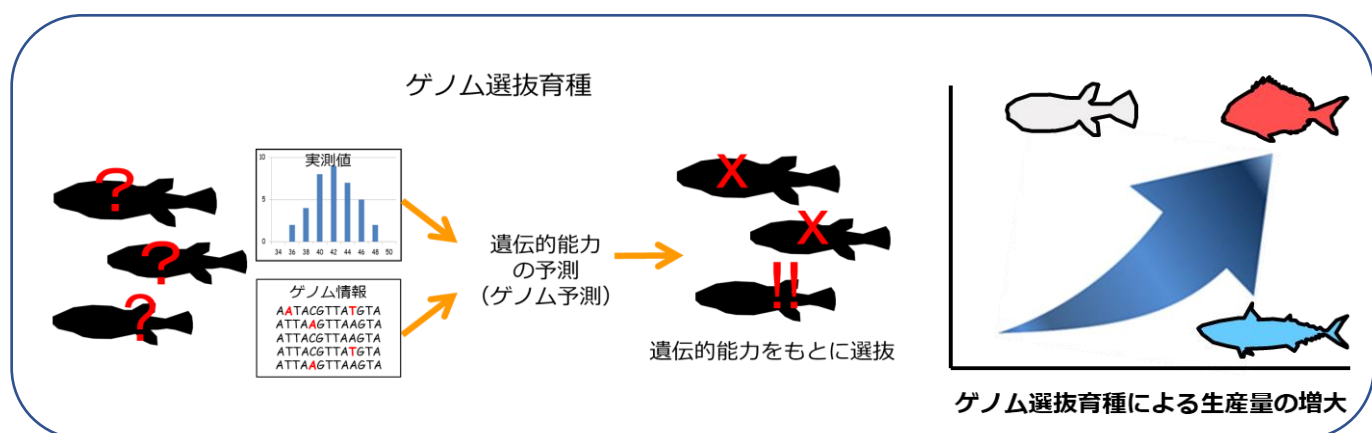


概要

『持続性の追求』と『生産性の向上』の両立を実現する『ゲノム選抜育種』の導入が養殖業の成功のカギとなる。トラフグなどの優良系統の創出をケーススタディーとしてゲノム選抜育種の導入に関する研究を通じ、日本の養殖業の成長産業化に貢献する。



ゲノム選抜育種技術の普及と養殖魚の育種化促進

養殖業全体で持続性と生産性の両立が実現される

- 高品質化や付加価値の付与による**生産性と競争力の向上**
- 餌料効率等の改善による**持続可能な養殖業の実現**

動物性タンパク質や良質な脂質の供給に対する養殖業への期待が高まる中、生産性の向上と持続性の維持の両立を可能にするには選抜育種は必須の技術です。しかし、日本では他国に比べて選抜育種の導入が大幅に遅れています。この後れを取り戻す技術として、高度なゲノム情報を利用した「ゲノム選抜育種（ゲノミックセレクション）法」に注目した研究を行っています。本技術は、選抜育種を最先端の予測科学へと変貌させました。その結果、養殖集団の遺伝的多様性を維持しながらも、選抜期間を従来の数分の一に短縮できるようになっています。我々は対象種の生物学的特性にあわせつつ本技術を導入するための研究を基礎と応用の両面から進めています。